



女川町 復興ニュース

平成23年5月2日

第1号

発行：女川町役場復興推進本部（女川町立第二小学校2階）
問い合わせ先：0225-54-3131

第1回女川町復興計画策定委員会 開催



第1回委員会では、復興方針について話し合われたほか、委員全員がヘリコプターに搭乗し、上空から町内一円の被害状況の調査なども行いました。

女川町は、震災からの早期復旧をめざし、女川町復興計画策定委員会を立ち上げ、さる5月1日、災害対策本部（女川第二小学校内）において第1回目の会合を行いました。会議の冒頭、安住宣孝町長は「今なお不安な気持ちでいる多くの町民のために、現状復旧にとどまらない、港町女川の再生をめざすべく、新たな女川町の設計に取り組みたい」と決意を示し、委員会での協議がはじまりました。

防災、産業、住環境を復興方針の基本的なテーマについて、各委員から活発な意見や提案が出されました。鈴木浩会長は「復旧・復興が遅れると、過疎化がさらに進む住民の方々に復興のビジョンを早め示すべき」また、「委員会の取り組みを住民の方々に発信するとともに、被災者のエネルギーを復興計画にどのように生かしていくかが重要」と話されました。

安心・安全な港町づくり
《防災》

復興の三つの柱

港町産業の再生と発展
《産業》

住みよい港町づくり
《住環境》

＜女川町復興計画策定委員会メンバー＞

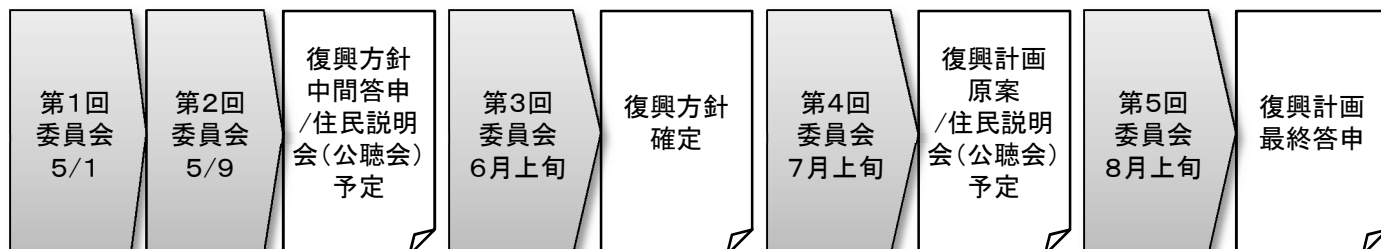
(敬称略)

- 会長 鈴木 浩〔福島大学名誉教授〕
- 副会長 木村 拓郎〔減災・復興支援機構理事長〕
- 委員 木島 明博〔東北大学教授〕
福留 邦洋〔新潟大学 災害・復興科学研究所
特任准教授〕
山田 隆司〔公益社団法人地域医療振興協会
常務理事〕
高橋 孝信〔女川魚市場買受人協同組合
理事長〕
高橋 正典〔女川町商工会長〕
鈴木 敬幸〔女川町観光協会長〕
阿部 彰喜〔宮城県漁業協同組合女川町支所
支所運営委員長〕
齋藤 俊美〔女川町区長会幹事長〕
横内 静子〔女川町婦人会長〕
遠藤 信哉〔宮城県土木部次長〕
- アドバイザー
首藤 伸夫〔東北大学名誉教授〕
今野 順夫〔福島大学名誉教授〕

学識者からは「復興計画策定の過程においても、町民の雇用や、仕事の流れをきらしてはいけない」「医療・福祉、教育、エネルギーの分野も重要」などの提案がありました。地元の水産、漁業、商工団体の代表者からは「現実に即した目標や復興のスケジュールを示さないと住民は不安になる」「仮設の市場や店舗による事業の早期再開も必要」など、生活者や事業者の立場としての意見も積極的に出されました。

委員会では、お盆前の8月上旬をめどに、町としての「復興計画」をとりまとめることにしており、その間、震災の発生日（あたり日）に合わせ、各月の下旬に委員会を開催することとしました。今後、各種団体などとの意見交換を行い、広く町民の意向を盛り込みながら検討を進めていくこととしました。

＜委員会開催等のスケジュール＞



「女川町復興推進本部」立ち上げ

女川町では、まちの復旧・復興を役場が一丸となって押し進めていくために、5月1日付で「女川町復興推進本部(本部長・女川町長 安住宣孝)」を立ち上げました。

復興計画策定委員会とも緊密に連携し、復興方針や復興計画の作成、各種の復興事業実施の中心となって機能します。

復興への意見などがございましたら、
ぜひお寄せください。

女川町企画課復興推進室 0225-54-3131

